

Maz-motte

マズモッテ



2017 →
次代への継承!
← 2018



未来は勇者のものである！
～新たな価値観を創造しNAGOYAから世界へ～

Maz-motte

Vol.5

2017.12.20

名古屋JCがつくる広報誌

JCI

発行者/公益社団法人名古屋青年会議所
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号 名古屋JC会館

TEL 052-221-8590



「書き損じはがき」11枚で
1人が1ヵ月間学べる!

寺子屋で学んでいます。(カンボジア)

～“世界寺子屋運動”書き損じはがきキャンペーンにご協力ください～

印刷を失敗してしまった! 余ってしまった! 出しそびれてしまった!
そんな年賀状、官製はがきはありますか?
世界の大人の約7億8,100万人、およそ6人に1人は読み書きができません。また、貧困や紛争、女の子だから…など、様々な理由で学校に通えない子どもが世界には約5,800万人います。
世界の識字教育支援、子どもたちの笑顔に「書き損じはがき」が役立ちます。*ポストに投函していないはがきに限りです。
1枚でも多くのはがきの回収に、ご協力をお願いします。

“世界寺子屋運動” 名古屋実行委員会

(公財) 名古屋国際センター 交流協力課内
〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47-1
TEL : 052-581-5691
e-mail : koryu@nic-nagoya.or.jp

マズモッテ定期送付ご希望の方へ

携帯、スマートフォン、パソコンからお申し込み

①QRコードを読み取ってください→



②「マズモッテ定期送付依頼フォーム」から必要事項をご入力ください。



*QRコードでなく、入力の際は下記アドレスをご入力ください。
https://www.nagoyajc.or.jp/67nendo/about/mazmotte/main_form.php
*ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に従い取り扱います。
*公益社団法人名古屋青年会議所に関する情報提供以外の目的では利用いたしません。
*アクセスにはご契約の通信料がかかります

編集後記

今回で、公益社団法人名古屋青年会議所 第67年度(2017年度) 広報委員会の広報誌(Maz-motte)としては、最後となります。これまで、ご購入いただきましたみなさま、ありがとうございます。来年は、バトン第68年度(2018年度)の広報委員会に引き継ぎ、新たな広報誌となって、みなさまのお手元に届くかと思っております。今後とも、変わらぬお付き合いをよろしくお願いいたします。

「未来は勇者のものである～新たな価値観を創造しNAGOYAから世界へ～」
本年度、大和理事長の掲げる所信から生まれたスローガンを軸にし、公益社団法人名古屋青年会議所の運動を振り返り、そして未来へつなぐための情報発信をいたしました。
「勇者」という言葉に拘ると、公益社団法人名古屋青年会議所の

会員や参加する市民など関わる全ての者に勇者としての姿を垣間見ることができました。理事長所信にある通り、「勇者」とは、決して優れた人間であるわけではなく、唯一無二の存在でもありません。「勇者」とは、未熟であるが故に、未来を描き、失敗を恐れず、果敢に何事にも挑戦していく存在です。彼らの果敢に挑戦する姿が感動を生み、さらなる勇者の誕生を促します。

この最終号の広報誌(Maz-motte)では、公益社団法人名古屋青年会議所の会員の中にある数多くの勇者たちの姿をご紹介します。ご購入いただきましたみなさまの中から、さらなる勇者たちが誕生することを祈念しております。

1年間、ありがとうございました。

名古屋の魅力を発信する情報をゲット!

名古屋青年会議所のホームページやSNSでも情報を発信中!



編集者 公益社団法人名古屋青年会議所 広報委員会

編集長 保田幸希

副編集長 掛斐晴基 杉晴樹 篠崎ひとみ 武藤憲幸 矢野大輔 渡邊建介

編集員 相川信郎 岩崎陽介 岩田孝之 岩間泰之 鶴岡直樹
大西幸義 大橋飛鳥 奥田英里 加藤丈博 小早川洋介
近藤優介 三枝祐一 柴田達也 杉山裕一 鈴木貴則
高木賢一郎 高田智仁 田之上慶彦 恒川大輔 寺島市朗
中島康雄 成瀬晋一 野村茂彦 野間友長 早川祐希
早野誠 東勝彦 間野友長 本田達正 荻島太地
村瀬雄介 森光賢 横井佑典



公益社団法人名古屋青年会議所
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目15番地24号
TEL 052-221-8590 FAX 052-202-0464

http://www.nagoyajc.or.jp
名古屋青年会議所 検索

次代に伝えたい！ 名古屋食文化遺産

「第4回」タイ・バンコクの名古屋めし

取材・撮影・文 永谷正樹

今や名古屋観光の目玉となっている「名古屋めし」。その反面、地元の人にはあまり食べなくなつたという話も耳にします。まず私たちが名古屋の食文化を学び、「名古屋めし」を食べることで郷土に思いを寄せ、ひいては子供世代にその素晴らしさを伝えていきたいと思います。

タイで名古屋めしがブーム？

少し前に名古屋めしの有名店が東京や大阪に出店して話題を集めました。今、名古屋めしは国内のみならず、海外でも認知されつつあります。とくにタイ・バンコクでは、ここ数年、名古屋を拠点に展開する外食チェーンの出店が続いていて、日本人のみならず、地元のタイ人をはじめ、観光やビジネスで訪れた外国人にも人気を集めているそうです。それをどうしてもこの目で確かめたくなり、今年5月にバンコクへ行ってきました。



NAGOYA-MESHI



- ①世界の山ちゃん タイ本店 富裕層が住むエリアのためか、店の前にある駐車場には、高級外車が並んでいた。
- ②幻の手羽先 価格は5本120タイバツ（約360円）と、日本よりも安い。タイ庶民にとっては高め。
- ③サガミ セントラルワールド店 名古屋にある店舗とは違った雰囲気。
- ④「サガミ」で女性に人気の「サーモンミニ丼セット」。
- ⑤タイで「フジヤマ55」を運営する「MEGUMI GROUP」代表のナイ氏 もともとラーメンが好きで、「東京や大阪で40軒ほど食べ歩きましたが、「フジヤマ55」がいちばん美味しかったです」とか。
- ⑥オススメの「旨辛つけ麺全部のせ」 麺もスープも日本のものとまったく同じだった。
- ⑦「フジヤマ55 スクンビット39店」の店内 取材当日、店内に日本人は一人もいなかった。
- ⑧「麺屋やまと」の「元祖やまとませそば」（台湾ませそば）

好に合わせた唐辛子を使っているのか、とても辛くて汗が止まりませんでした。

名古屋で生まれたつけ麺に惚れ込んだタイ人オーナー

今、タイでもっとも勢いのあるラーメンチェーンが国内に6店舗展開する「フジヤマ55」です。2012年、スクンビット39通りに1号店を開店させたタイ人オーナー、ピシャン・イングライディーウィチアンさん、通称「ナイ」さんは、大須にある総本店で食べたつけ麺に衝撃を受けたそうです。「豚骨と魚介の旨みが凝縮されたスープに驚きました。辛さの後にほんのりと広がる甘さもクセになりました。これをタイで出すことができればと思います、すぐに「フジヤマ55」が

ループの澤電一郎代表にコンタクトを取りました」と、ナイさん。

その申し出に澤代表は戸惑いました。当時、かつたのです。しかし、すぐにバンコクへ渡って市場調査を始めました。すると、バンコクにはつけ麺を出す店はあるものの、あくまでもラーメンがメインであることがわかりました。澤代表は十分に勝負できると判断し、フランチャイズ契約を締結しました。

ナイさんは今でも年に数回名古屋を訪れて名古屋めしを食べ歩いているそうです。「タイ人にとって、名古屋は工業都市というイメージしかありませんが、私は東京や大阪よりも美味しいものがいっぱいある街だと思っています。タイでは、これからも名古屋めしが広がっていくでしょう」と、ナイさん。

バンコクで名古屋めしが普及した背景には、トヨタ自動車やデンソーなどの現地進出があったのは言うまでもありません。それら企業がグローバル展開を強化すればするほど、今後も世界各国に名古屋めしの店が進出する可能性はあります。寿司や天ぷらのように、「NAGOYA-MESHI」が国際語になる日も近いかもしれません。



ながや まさき
永谷正樹

Profile

'69年愛知県生まれ。名古屋の食をテーマに「おとなの週末」（講談社）や「STORY」、「女性自身」（光文社）などの全国誌に記事と写真を提供するフードライター兼カメラマン。講演やテレビ出演のオファーも多数。



公益社団法人名古屋青年会議所 第67年度正副団座談会

1年を振り返って

【大和理事長】
正副団のみならず、第67年度の名古屋青年会議所の運動を支えていただき、ありがとうございます。振り返ってみようと思います。
まず、第67年度は、「渉外・広報グループ」・「勇健なる名古屋人育成グループ」・「次代の名古屋創造グループ」・「世界につながる価値観創造グループ」・「総務グループ」という、5つのグループを有する組織編成で事業・例会を中心として、様々な運動を展開してまいりました。

○渉外・広報グループ
山本グループ長、まずは、渉外・広報グループの1年を振り返って一言お願いします。

【山本グループ長】
当グループは、渉外・広報グループとして、京都会議をはじめ諸大会への参加啓蒙や日本青年会議所はじめ協議会、各地会員会議所との連携を図ること。また、名古屋青年会議所のブランディングを行ない市民への存在価値、認知度の向上に務めました。そして、名古屋の魅力が市民自らが体感し、発信すること。さらに魅力を高めていく例会を実施しました。また、グループ事業として「労働力確保！働いてもらい方改革！」を開催しました。

【大和理事長】
渉外・広報室は、大井貴正室長のもとで、3人の委員長たちが委員会を取り纏めて下さいました。それぞれのリーダーシップについてお聞かせ下さい。

【山本グループ長】
大井室長は、それぞれの委員長の個性をしっかり把握し、それぞれへの的確なアドバイス。自身が勉強になりました。また、楽しくもあり、厳しくもあるグループの雰囲気を作ってくれたこと、個性あふれる3人の委員長をリードしてくれたこと、そして私の想いを察し、二歩三歩先を読みながら行動してくれたことに大変感謝しています。



渉外・広報グループ
山本一統副理事長



大井貴正室長
渉外委員会
川村浩副委員長
広報委員会
保田幸希委員長
JCFフェスティバル委員会
川村浩副委員長

ています。あなたがいてくれたからこそ、私、渉外・広報グループでした。ありがとうございます。
実直で、時にユーモラスな落合委員長。その実直さによって、私たち正副は安心して各地での公務に当たることができました。そして、京都会議・サマーコンファレンスナゴヤナイト、グループの中核として事業構築に当たっていただきま

○勇健なる名古屋人育成グループ
それでは、細川雅也グループ長、勇健なる名古屋人育成グループの1年を振り返って一言お願いします。

【細川グループ長】
当グループは、勇健なる名古屋人育成グループということで、ひとつくりをテーマに数多くの事業・例会を通して、会員の資質向上・子どもから大人まで市民の健全な成長を目指して活動してまいりました。2人の室長のもと、4人の委員長たちが、それぞれの持つ個性を最大限に引き出して、事業・例会もインパクトのある運動を展開することができました。

【大和理事長】
勇健なる名古屋人育成グループには、カッコいい名古屋人育成室の武田裕規室長のもとで、2人の委員長、そして、たくましく生きる力育成室の長谷川正樹室長のもとで、2人の委員長たちが委員会を取り纏めて下さいました。それぞれのリーダーシップについてお聞かせ下さい。



勇健なる名古屋人育成グループ
細川雅也副理事長

【細川グループ長】
武田室長は、春名委員長と田村委員長という全くなると、しかし、強烈な個性を持った二人の委員長と共に歩んでいただきましたが、それぞれの個性が生きて輝くように導いていただきました。2委員会共、褒賞で受賞しましたが、武田室長の綿密な計画と結果に結びつける情熱の賜物です。ありがとうございます。
爆発する人間力確立委員会の春名潤也委員長には、2月例会という早い時期に大変な重責を受け持っていただきました。また、会員向けの事業でも新たな試みに果敢に挑戦していただきました。どれも期待以上の成果を上げました。春名委員長の人間力が委員会のメンバーの心に火をつけて爆発させてくれました。ありがとうございます。

心ある経営実践委員会の田村昌之委員長は、最優秀例会賞を受賞しましたが、何よりも彼の行動力と心あるリーダーシップが委員会

を牽引する原動力となりました。地道に足を使って日本全国を駆け回ったことが、例会に反映され、その成果は参加者に伝わり、感動を与えました。口下手なのに、周りに人を引き付けるのも彼の魅力でした。



心ある経営実践委員会
田村昌之委員長
爆発する人間力確立委員会
春名潤也委員長
カッコいい名古屋人育成室
武田裕規室長
スポーツマンシップNAGOYA委員会
井上剛委員長
未来へのソウゾウリョク育成委員会
三輪大介委員長
たくましく生きる力育成室
長谷川正樹室長

未来へのソウゾウリョク育成委員会の三輪大介委員長は、兎に角、事業の回数が多くメンバーの巻き込みが重要な委員会でしたが、副委員長たちスタッフの志気を高め、チームとして纏め上げてくれました。彼の塾長としての経験が存分に活かされた委員会運営でした。彼の背中をみた会員が新たな勇者として今後も活躍することは間違いありません。
スポーツマンシップNAGOYA委員会の井上剛委員長は、伝統あるわんぱく相撲を大きく進化させ、3000名を超える市民を集めたことは大いなる功績です。また、スポーツマンシップNAGOYAフェスティバルも新しい試みでしたが、見事に成功させて下さいました。彼の熱い心と周りを巻き込む力強さが為せる技でした。

【大和理事長】
細川グループ長、ありがとうございます。ひとつくりをテーマにしたグループでしたが、ここに関わった人たちが自己成長を目指し、情熱を持って取り組む姿があったからこそ、会員や市民のみならず、その情熱が伝播していき、人びとの成長を促すことができました。

したグループ事業。落合委員長らしさが存分に発揮されていたと思います。予定者段階からひたすら走り続けた渉外委員会。素晴らしいリーダーシップでした。ありがとうございます。
保田委員長。一言で、よくやりました。よく頑張った。本当に素晴らしいです。広報活動はLOM内ではなかなか目立たないですが、活動している量は全ての委員会で一番だったと思います。委員会運営に苦労していたけど、そんな中でも共感したスタッフ、メンバーとともに名古屋青年会議所のブランディングの向上に、粘り強く最後の最後までやり切ってくれました。その根性は名古屋青年会議所の中でトップクラスです。本当にありがとうございます。

【大和理事長】
山本グループ長、ありがとうございます。渉外広報グループは、いついかなる場所においても我々正副団と共に行動していただき、日本のリーディングLOMとして活動するべく尽力していただきました。誇りある組織であり続けるために、また多く出向者を輩出する名古屋青年会議所において、各所で頑張る仲間たちを支援できたのも、彼らのひたむきな活動のおかげであると心から感謝しています。



○次代の名古屋創造グループ
 それでは、三宅貴史グループ長、次代の名古屋創造グループの1年を振り返って一言お願いします。

【三宅グループ長】
 次代の名古屋創造グループとしては、経済の実態と将来性・進化するテクノロジーの可能性・次代へつなぐ歴史観・地域防災など様々な切り口で、名古屋のまちの抱えるリアルな課題を提起し、解決の糸口を市民と共に考える例会・事業を実施させていただきました。市民に新たな価値観が芽生えまのちの将来像を描く契機となりました。

【大和理事長】
 次代の名古屋創造グループには、ストロングシティ名古屋創造室の寺田拓也室長のもとで、2人の委員長、そして、魅力溢れる名古屋創造室の藤井富浩室長のもとで、2人の委員長たちが委員会を取り纏めて下さいました。それぞれのリーダーシップについてお聞かせ下さい。

【三宅グループ長】
 寺田室長は、グループ内ではうるさく型として理事の模範となる行動と、厳しいことをしっかりと伝えていただき存在として、グループを支えていただきました。また、持ち前の行動力を生かして各例会・事業に対して委員長に寄り添い、共に様々な関係諸団体へ出向き議案を構築していただき、各例会や事業を成功へと結びつけていただきました。藤井室長は全ての抱いを真摯に受け止め委員長の指導に当たっていただきました。委員長が気づかない細かなところまでしっかりと配

○世界につながる価値観創造グループ
 それでは、浅野弘義グループ長、世界につながる価値観創造グループの1年を振り返って一言お願いします。

【浅野グループ長】
 当グループは、世界につながる価値観創造グループということで、市民や名古屋市、そして会員に対して各委員会の例会や事業、グループ例会やASPAC、世界会議にて強烈な原体験や、持続的な仕組みを伝播し、今までにない世界につながる新たな価値観を創造することを考えました。国際都市、持続的な国際貢献、グローバルリーダーの側面から構築してまいります。

【大和理事長】
 NAGOYAの価値観創造室は、林雅人室長のもとで、3人の委員長たちが委員会を取り纏めて下さいました。それぞれのリーダーシップについてお聞かせ下さい。

【浅野グループ長】
 林室長には、3人の委員長の独特な個性を伸ばしていただき、うまくまとめてもらいました。当グループには1室しかなかったのですが、副理事長から各委員長へ直接の話も多かったのですが、時には間に入って委員長に寄り添ってくれたことと思います。こう見えて実は今後のJC運動を真剣に考えていて、その発想力に何度も助けてもらいました。ありがとうございます。

只井委員長には、3月例会では議案にて講師選定等でかなり苦労しました。人がいいのか、詰めが甘いのか、先方になんか翻弄されましたが、例会から口ボカップでの国際交流と

慮して例会や事業の準備を進めていただき、安心して任せることができました。卒業年度でもあり、最後までJC活動に邁進していただき、当グループを支えていただきました。遠藤委員長は4月例会という早い段階の例会を担当していただき、予定者段階より多くの動きをしていただきました。そして持ち前の素晴らしい行動力を発揮し、難しいテーマに対して様々な方々に話を聞き自己の考えを構築していただきました。また、委員会運営でもリーダーシップを発揮し、委員会の出席率を高い水準で保っていただきました。橋田委員長は、全ての抱いに真摯で地道な努力を重ねて向き合っていました。委員会では橋田委員長のキャラクターを存分に発揮し、委員会が一丸となって事業に取り組んでいただけだと思います。そのような委員長の背中を見て理事候補選出選挙に2名が手を挙げてくれたと思います。八木委員長は、常に熱い思いを持って、例会・事業に取り組んでいただきました。特に事業では委員会メンバーを巻き込み準備していただき、目的を達成できたと思います。また、グループ事業にもご尽力いただき、グループ運営に貢献していただきました。山邊委員長は、防災という広いテーマに対して行動力を生かして、副委員長を巻き込んでいち早く動きだしていただきました。その姿はグループの中でも模範であり、他の委員長にも良い刺激となりました。また、グループ事業ではこれまでの経験を生かして先頭に立ち取り組んでいただき感謝しています。



ました。切り口や手法は変化しても、市民が自らの手で名古屋のまちをより良くする当事者意識を持っていただける運動につながりました。1年間、お疲れ様でした。

次代の名古屋創造グループ
三宅貴史副理事長

NAGOYAの発信という流れをうまく作ってくれました。持ち前の行動力と現調好きのお蔭で、国際渉外では本当に助けられました。次年度もそのフットワークの軽さで渉外頑張ってください。ありがとうございます。林委員長には、新たな国際事業を担当してもらいました。真面目なスタッフから輩までしっかりと心をつかむ類いまれなリーダーシップで、事業の重たさを感じさせず見事に素晴らしい事業を構築してくれました。11月例会も最後まで責任をもって担当し無事終わ



世界につながる価値観創造グループ
浅野弘義副理事長



らしてくださいました。本当にありがとうございます。そして最優秀事業おめでとう！次年度も新たな3Gプロジェクト期待しています。鈴木委員長には、名古屋から持続可能な国際支援を考えてもらいました。エンカルやフェアトレードをしっかりと調べ、カンボジアの現場まで調査をし、エンボルというおしゃれな新たなブランドを立ち上げられたのも、女性的な視点からです。また運動の発信の仕方にも新たなチャレンジをしていただいたのは素晴らしいです。皆が持っているその視点は、今後のJCでも必要とされるものです。ぜひ個性を生かして頑張ってください。ありがとうございます。

【大和理事長】
 浅野グループ長、ありがとうございます。世界につながる価値観創造グループでは、本年度名古屋青年会議所の国際の輪を大きく広げてくれる取り組みをしていただき、これからも発展し続ける名古屋のまちが、世界においてどのような存在でなければいけないかを色々な切り口で追求し、発信してくれました。

○総務グループ

それでは、佐藤寿倫総務グループ長、総務グループの1年を振り返って一言お願いします。

【佐藤グループ長】

本年度の総務グループの主な担いは大きく分けて2つ。オリエンテーション特別委員会による会員募集の統括と新入会員の育成、そして、総務室である財務委員会、総務委員会による諸会議の運営と書類の審査・検証でした。どちらの担いも予定者から1年4ヶ月を通して気の抜けない大事な担いであり、いわば、組織の「未来」と「現在」の肝となる重責ある役目をお預けいただけました。皆様のご協力で何とか無事に終われそうで正直ホッとしています。

【大和理事長】

佐藤グループ長のお言葉通り、総務グループは、白瀧征人特別委員長がオリエンテーション特別委員会、そして、佐地宏之室長のもとで、2人の委員長たちが委員会を取り纏めて下さいました。それぞれのリーダーシップについてお聞かせ下さい。

【佐藤グループ長】

オリエンテーション特別委員会の皆さんと接するたびに、白瀧特別委員長を慕っている様子が伺えて、さすがだなと思いました。後半は次年度の担いと掛け持ちでしたが、器用な白瀧特別委員長らしく難なく乗り越えてくれました。これからも後輩たちに未来を切り拓く「勇者」の背中を見せ続けて下さるに違いありません。親友として心から応援しています。佐地室長には、感謝しきれないくらい感謝しています。

います。ときに議案の審査が厳しすぎるのでは？という声も私にも聞こえてきました。総務プライドを持って、より良い運動の一助になりたいと思えばこそその第67年度総務室クオリティでした。グループ長としてもそんな総務室に誇りを持っておりまして、そこに1ミリも疑念はありませんでした。

松永委員長は、入会当初からの付き合いで、何でもそつなくこなすタイプというイメージがありました。委員会運営やスタッフの育成で悩んでいる姿は、ある意味新鮮で、それを



乗り越える姿はカッコよかったです。厳しい要求も色々としてしまっただけ、しっかりと結果を出してくれてありがとう！次年度も出向先での大活躍を祈念しています！！

高橋委員長ですが、彼とは従兄弟でして、まさか青年会議所でこのような関係で関わるとは思いませんでした。総務委員長という要職を、悩みながら傷つきながら成長し、その担いを一つ一つ全うしていく姿を一番近くで見ることができました。遠慮なく厳しいことも言ってきたけど、結果、素晴らしい理事委員長になる姿を見られて心から嬉しかったです。

【大和理事長】

佐藤グループ長ありがとうございます。総務室は、組織としての規律を守り、些細なことも疎かにしない姿勢は伝統と進化が織りなす現在の名古屋青年会議所を形づくってくれました。また、オリエンテーション特別委員会では、名古屋青年会議所の未来を担う新たな息吹に懸命に向き合ってくれました。

○専務理事

【梅村専務理事】

最後に、梅村総専務理事より、今年の公益社団法人名古屋青年会議所の運動を総括的にみて意見を頂戴したいと思えます。専務から見ると、どのような一年でしたか。

【梅村専務理事】

やはり一言で表現するのであれば「新たな価値観を創造する」という特徴があったかと思えます。そして、その枠組みにおいて人づくり・まちづくり・国際の切り口で運動発信



専務理事
梅村総専務理事

を行ったわけですが、どの委員会も勇気を持って果敢にチャレンジしてくれたと思います。この「新たな価値観を創造する」という特徴は運動発信のみならず対内で行われるナイト経営などにも表れていたと思います。もちろんチャレンジは失敗も生みますが確実に自己成長や新たな価値観を生み出してくれていました。あと、他の特徴として一つあげさせていざととするならば国際を軸にした運動は例年に無い結果を生んだように感じています。新しい形の姉妹JICとの交流などはグロバライゼーションが進んだ時代において非常に有益な結果を残したと思います。

そして、会頭輩出LOMとして日本JICの運動にコミットすることは当然ですが、日本JICと運動した運動を意識したことも特徴の一つといえると思います。

【大和理事長】

次年度に向けて、梅村専務理事が、名古屋青年会議所に期待することがあれば、教えて下さい。

【梅村専務理事】

名古屋青年会議所という組織の観点においては一人でも多くの会員が当事者意識を持ち、明確な目的・目標をもって行動することで躍動する団体になって欲しいなと切に思います。その結果として今以上に会員益を感じ、出席率という一つの軸を見たときに第67年度を超える数値を成果として出して欲しいと願っています。

また、対外的な観点においてもですが市民にもっと認知され頼られる必要があるのは当然ですがそもそも青年会議所運動を市民にもっと理解していただくことを期待したいと思えます。非常に難しいことではありますが青年会議所の独りよがりではないかと思えます。そして、第67年度が創造した新たな価値観の数々を上手に活かしていただき、第68年度ならではの運動につなげていただければ専務冥利につきます(笑)

【大和理事長】

梅村専務理事、ありがとうございます。私たち第67年度の冒険、「未来は勇者のものである」その言葉から始まる挑戦の旅でありました。梅村専務理事には、女房役として、常に寄り添って行動していただき、あらゆる面から、サポートしていただきました。

本場に多くの方の支えがあつて、今年の運動を展開することができました。今回の座談会では、各グループ長と専務からみた室長(常任理事)と委員長(理事)のリーダーシップを中心に話させていただきましたが、監事・顧問のみなさまや、出向役員、そして、各委員会の副委員長・メンバーなど、多くの勇者たちによって、第67年度の運動が展開されていたことをお伝えしておきます。

みなさん、ありがとうございます。



LOM内褒賞2017

個人賞



M V J (Most Valuable Jaycee)
財務委員会 播磨一夫



B N J (Best Nadeshiko Jaycee)
広報委員会 篠崎ひとみ



最優秀新人賞
グローバルネットワーク推進委員会 岩田壮一

最優秀出向賞
爆発する人間力確立委員会 三宅功一



委員会賞



最優秀委員会賞
爆発する人間力確立委員会



最優秀事業賞
グローバルネットワーク推進委員会



最優秀例会賞
心ある経営実践委員会



理事長特別賞
J C フェスティバル委員会



会員拡大賞
グローバルネットワーク推進委員会

グラندスラム



- | | |
|----------------|-------|
| 渉外委員会 | 木村 溪介 |
| 広報委員会 | 篠崎ひとみ |
| 爆発する人間力確立委員会 | 相羽 哲弘 |
| 心ある経営実践委員会 | 市川 孝史 |
| 心ある経営実践委員会 | 太田 佳典 |
| セーフティビジョン研究委員会 | 鶴飼 伸弥 |
| オリエンテーション特別委員会 | 神谷昭一郎 |
| オリエンテーション特別委員会 | 桑田 正和 |
| オリエンテーション特別委員会 | 西原 政熙 |

グループ賞



- | | |
|------------------|-------|
| 渉外・広報グループ | 吉川 徹 |
| 勇健なる名古屋人育成グループ | 太田 佳典 |
| 次代の名古屋創造グループ | 蟹江 誠一 |
| 世界につながる価値観創造グループ | 神谷 勇輝 |
| 総務グループ | 石原 裕也 |

2017年度 一年間の軌跡 ～各地青年会議所とのつながり～

全国には、767の各地青年会議所があります。各地の青年会議所会員が出向して、公益社団法人 日本青年会議所を組織し、さらに東海地区協議会・愛知ブロック協議会などのエリアで活躍する人たちもいます。そして、毎年、開催される公益社団法人名古屋青年会議所と各地の青年会議所との交流があり、様々な人と人のつながりが、地域を越えた友情を可能にしています。この頁では、2017年度の各諸大会・各諸会議・式典などの様子を一部、ご紹介します。



公益社団法人日本青年会議所
2017年度 京都会議 新年式典



公益社団法人日本青年会議所 理事会
出向者とオブザーブ参加者



各諸会議オブザーブ出席



公益社団法人日本青年会議所
2017年度 京都会議 総会・理事会



東名阪会議(東京JC・大阪JC・名古屋JC)



公益社団法人日本青年会議所
2017年度 全国大会 埼玉中央大会 ナゴヤナイト



公益社団法人日本青年会議所 東海地区
愛知ブロック協議会 名古屋会議 式典



公益社団法人日本青年会議所 東海地区
愛知ブロック協議会 ブロックアカデミー開校式



公益社団法人日本青年会議所 東海地区
愛知ブロック協議会 会員会議所会議 役員席



公益社団法人日本青年会議所 東海地区
愛知ブロック協議会 会員会議所会議 33LOM理事長席



公益社団法人日本青年会議所 東海地区
愛知ブロック協議会 本部役員会議



公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会
2017年度 地区役員会議



チャーターLOM公式訪問



名豊一会(豊橋JC・一宮JC・名古屋JC)



一般社団法人 桑名青年会議所 創立65周年式典